

四国放送

活動名	四国放送アナウンサーお話し会「言葉っておもしろいゾウ10」
実施期間	令和6年10月25日～令和6年11月27日
実施回数	会場6回

【事業実施の成果・課題】

平成27年度からスタートしたこの事業を継続していることで、徳島市教育委員会を通じて希望校を募る際には毎年、多くの応募があると聞いている。一度受け入れてくださった先生が転任されて、「あの時とても楽しかったから」とご希望くださる場合もある。アナウンサーからも、日頃のない生のリアクションを感じることができるこの読み聞かせ事業は、大変刺激になっていて、とても楽しみだと聞いている。絵本を通じて、子どもたちとアナウンサーと一緒に楽しめる場になっていると感じている。コロナでマスクをしていた時代を経て、子どもたちの声が小さくなっている、という声は今年も聞いた。「腹式呼吸」と「発声練習」や「早口言葉」の時間は、子どもたちはとても楽しそうに夢中になっている。これからも継続していきたい。ただ、アナウンサーの勤務の都合上、遠隔地の学校での実施ができていないのが現状で検討したいと考えている。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<アナウンサーの感想>

- ・子どもたちと触れ合える貴重な機会なので、来年も継続して行いたい。特に今年はスムーズに進めることができ、子どもたちからの質問タイムがしっかりとれたため、子どもたちの素直な質問が新鮮で面白かった。
- ・小学生に向けてわかりやすく、伝わるように読むことを意識して練習した。ニュースを読むのとはまた違うのでとても新鮮だったし、自身の表現力やアナウンス力の向上にもつながったように思う。自分たちが読み聞かせるだけでなく、図書委員の子どもたちの読み聞かせを聞いてアドバイスをするという時間もあったが、子どもたちも聞いているだけよりは実際に読んでみる方が身につくと思うので良いと思った。子どもたちも一生懸命練習し、とても上手に読めていたが、もう少し読み込んでもらえると別の角度から助言することができたのかなと思った。
- ・毎年のことだが、子どもたちの生の反応を見ながら（聞きながら）本を読むのは楽しい。「どう笑わせようか」など反応を引き出すための読み方を工夫することが、日ごろの業務にも生かせたと思う。県内の作家の作品や 徳島県内がモデルになった作品をさらに充実できると良いと思う。

<担当者の感想>

今年はある学校から、「図書委員会のメンバーが低学年の生徒に読み聞かせをするので 読み聞かせとともに 自分たちも絵本を読んでみるのでプロのアナウンサーのアドバイスが欲しい」というリクエストがあった。子どもたちは決して受け身でいるだけではないんだ！という嬉しい驚きでもあった。ご担当の先生からは子どもたちが大変楽しみにしてくれていることをいつも伺う。また先生ご自身もワクワクしてくださっているのが伝わってくるので、大変やりがいがある事業となっている。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・1冊読み終わった後に「もう一回聞きたい」というリクエストの声があがった。
- ・こんなにも面白い絵本を知ることができて良かった。
- ・読書が好きになった。
- ・元々本を読むのは好きですが、学年があがるごとに絵本を読む機会が少なくなっていたので、少し絵本に触れてみる機会をもうけてみようと思う。
- ・絵本の主人公のように夢をあきらめない人になりたいと思った。
- ・私も絵本の主人公のように、何か好きなものがほしい。
- ・私もアナウンサーさんのようにキレイな声で読んでみたい。
- ・（発声練習で）口を動かし方、声の出し方、そして口の運動を教えてくれてよかった。
- ・「またどこかで会えますように！」

＜ご担当の先生＞

2人での読み聞かせということで 物語がよりわかりやすかった。

テレビに出ているアナウンサーが来てくれることを楽しみにしていた。

事後、子どもたちから「読み聞かせに来てくれたアナウンサーが出ている番組をみた」という声をたくさん聞いた。とても楽しい思い出となった。